

資料 4

日 薬 情 発 第 111 号
令 和 7 年 10 月 8 日

都道府県薬剤師会担当役員 殿

日 本 薬 剤 師 会
副会長 原口 亨

電子お薬手帳システム等を統合した 薬局 DX 基盤サービス「N-Bridge」について

平素より、本会会務にご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨今、電子お薬手帳システムや医薬品情報共有システムが個別に提供されており、薬局がそれぞれと契約することによる経済的・管理的負担の増大が課題となっております。

また、FAX コーナーを撤去した医療機関や FAX コーナー未設置の医療機関が限定的運用を目的としたシステム等と契約し、端末を設置する事例も一部で見受けられます。これらの端末は、薬剤師会等が管理してきた FAX コーナーとは異なり、特定の契約薬局が優先的に表示されるなど、患者の意思が正しく反映されない仕組みとなっている場合があります、特定の薬局への誘導につながるおそれがあります。さらに、処方箋を応需した薬局が負担する費用が高額であるなど、薬局ひいては地域の医療提供体制に悪影響を及ぼし、患者にとっての不利益となる懸念があります。

かかる状況を踏まえ、本会では電子お薬手帳システム「e お薬手帳 3.0」を基盤とした、公正かつ中立な薬局 DX 基盤サービス「N-Bridge（エヌブリッジ）」を、日本薬剤師会の電子お薬手帳（開発会社：株式会社ファルモ）の基盤を基本として運用する運びとなりました。

「N-Bridge（エヌブリッジ）」は、薬局に対しては、電子お薬手帳・処方箋受付・医薬品情報共有・医薬品発注等の機能を統合したシステムを提供し、各都道府県・地域・支部薬剤師会に対しては、従来の FAX コーナーに代わる医療機関設置型の処方箋等情報送信端末「NB Station（エヌビーステーション）」を提供いたします。これにより、地域の薬局業務全般を支える持続可能な DX 基盤を整備してまいります。

詳細につきましては、本年度内に説明会を開催する予定です。それに先立ち、本年 10 月開催の第 58 回日本薬剤師会学術大会において、展示ブースにて概要の一部をご紹介しますので、ご参加の際にはぜひお立ち寄りください。

何卒本会の趣旨にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

Q&A

Q, 「N-Bridge」とは何ですか？

A, 「N-Bridge」は、薬局向けに電子お薬手帳システム・処方箋応需システム・医薬品情報共有システムなどを統合したシステムであり、あわせて各薬剤師会向けに医療機関設置型の処方箋送信システム（従来のFAXコーナーに相当）を提供するものです。地域医療提供体制を支えるDX基盤として構築しています。詳細は今後の説明会にてご案内いたします。

Q, 「N-Bridge」はいつから利用できますか？

A, 来年度初旬の全国運用開始を目指し、処方箋送信機能・医薬品情報共有システム・電子お薬手帳を含む統合的な基盤として鋭意開発を進めております。

Q, 導入費用の負担はどうなりますか？

A, 会員薬局に過大な負担が生じないように、利用しやすい料金体系を検討しています。詳細は説明会で改めてご案内いたします。

Q, 医薬品情報共有システム等が、なぜ「N-Bridge」に搭載されるのですか？

A, 薬局業務の効率化・標準化に不可欠であり、個別導入よりも統合することでデータ連携が円滑となり、患者・薬局・医療機関にとって利便性が高まります。本会が統合的に整備することで、地域医療全体の質の向上に資すると考えています。

Q, ファルモ社と共同開発しても中立性は保たれますか？

A, 本システムは、あくまでも本会が主体となって企画・運営し、会員の不利益にならないように、公平性・中立性のルールに則り運営します。その上で、専門的な技術力や開発リソースを持つ企業と協力することで、高品質で安定したシステムを迅速に構築することを目指しております。

Q, 「N-Bridge」の導入にあたり、薬局側に必要な機材やPCのスペックはどのようなものですか？

A, 現在ご利用の「eお薬手帳3.0」が動作しているPCであれば、特別な追加機材や大幅なスペックアップは必要ない想定で開発を進めております。多くの薬局で無理なく導入できるよう、汎用性の高い設計としています。詳細な動作環境は説明会にてご案内します。